

いとまん 市議会だより

第138号

令和7年
12月5日発行

= 令和7年第5回(9月)定例会 =

21人の議員が
決まりました!!



令和7年11月16日(日)の糸満市議会議員選挙で21人の議員が決まりました。任期は令和7年12月3日(水)から始まります(新議員の氏名などの詳細は1月発行の新年号で掲載予定です)。

※写真は当選証書付与式の様子(上段:集合写真、下段:選管委員長、当選人代表あいさつ、議長、市長祝辞)



市政を たたく

一般質問

令和7年第5回定例会では、9月18日、19日、22日、24日の4日間にわたり、19人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧頂けます。



水道部長 経営戦略に
は可能か。



市民負担の軽減が求められる

水道部長 34億円は水道事業の財産と考えてよい。
玉城 来年度から値上げを段階的に行うことは可能か。
水道部長 経営戦略にあるか。

令和8年4月から水道料金の値上げを予定している。資金残高は幾らあるか。
水道部長 令和6年度決算で約22億円となっている。
玉城 貸付金については幾らあるか。
水道部長 約12億円ある。
玉城 この12億円の貸付額と資金残高22億円合わせて34億円あることになるが、この34億円は水道事業の財産と考えていいか。
水道部長 34億円は水道事業の財産と考えてよい。
玉城 来年度から値上げを段階的に行うことは可能か。
水道部長 経営戦略にあるか。

水道料金の引上げについて



玉城 良 議員

おいて10年間の収支シミュレーションを行っており、水道施設老朽化、更新及び新設工事費に約83億円、県企業局受水費に約101億円支払いが予定されている。県企業局の料金改定後、糸満市は料金改定を見送っている。この料金改定に御理解を頂きたい。
玉城 結果的に、1億5600万円の赤字となっており、県が値上げしても市も値上げする必要がない。工事費83億円についても、約2分の1が補助金で賄われるのであれば、年間で4億円程度。受水費101億円は、年間で10億円という内容のもので、ましてや企業債ができる余裕がある。シミュレーション予測よりも6400万円多い。下水道、水道のダブルの値上げは市民負担が大き過ぎる。家庭用、事業用の負担軽減を心から願っている。

保育行政について



金城 悟 議員

こども誰でも通園制度（仮称）についての進捗状況を伺う。

こども未来部長 9月定例会に、関係する条例案を提案しており、条例案が可決されると、本条例に基づき、事業所の認可手続を令和7年度中に行う予定である。また、12月定例会において関係条例の提案を予定しており、それに基づく事業所の確認手続についても、令和7年度中に行い、令和8年4月受入開始を予定している。

金城 令和8年4月受入れ開始を予定としているが、保育施設への公募はいつ頃から。

こども未来部長 本定例会で



運用開始に向けて期待が高まる



の条例制定後10月頃に認可等に関する規則を制定し、11月頃から公募して手続きを進めていく予定である。

金城 私はこども誰でも通園制度の本格実施を見据えた試行的事業について、幾度となく議会で取り上げてきた。やっと伝わった。これはもう国の動向なので、やらないといけなくなった。運用前に試行的事業から始めて、令和8年4月から運用させてほしいかった。

金城 初めて質問してから丸5年になっている。当初はなかなか難しいというような印象を受けたが、今年度に入ってから市内の事業所の窮状に

優先発注・優先使用について、基本指針の策定はどうなっているか。

経済部長 経済団体からの修正案に対し、経済団体の意向に沿う形で庁内調整を終えたところであり、近く経済団体に改めて意見を伺い対処する。

金城 具体的にいつ頃合意できるかは決まっているか。12月から始めることはできないか。

経済部長 経済団体と早期に調整を図り、議員提案の12月までには基本方針が策定できるよう努める。

商工行政について



金城 一文 議員

理解を示しているような印象を受けており、そういった答弁が見られるように感じている。指針を策定すれば全てがうまくいくというような劇的な効果があるとは考えてない。しかしながら職員一人一人の意識を変えていくためには、具体的な指針を定めて、それを遵守していくような意識改革を進めていくほかないのではないかと思う。職員の皆さんには一層厳しい目が向けられているが、市民の皆さんに寄り添うような姿勢を見せることで、信頼回復につながると思うので、一日も早い策定をお願いする。



市内事業所の優先使用を

教育行政について



前田 潤 議員

学校用務員を配置している学校を伺う。

教育部長 令和7年9月1日現在、市内小学校10校全てに各1名ずつ配置している。

前田 沖教組島尻支部へ寄せられた学校現場からの文書を読み上げる。「高嶺小学校の要望を集めました。現在、用務員がいることで、職務に専念できる環境が整えられていると感じています。用務員がいなくなると、その業務は全職員で負担すると思います。が、小学校では担任は放課後にやることになるが、教材研究もある中、どのように時間を確保したらいいでしょうか。子供たちと向き合う時間の確保は、教職員のライフ・

ワーク・バランスが業務改善の目的だとされていますが、用務員廃止はそれに逆行するものだと思います。中学校では、対策としてスクールサポートスタッフが配置されていますが、用務員の業務内容全てでできるわけではないことや、勤務時間が短く活用が難しいなどがあると聞きます。」今読み上げた文書に対して、感想を伺う。

教育長 小学校の学級担任の業務の多さについては、教育委員会でも認識している。小学校における用務員については、現時点ではできるだけ廃止しない方向で考えている。今後とも市校長会とも意見交換しながら取り組んでいく。



教職員の負担が増えないような配慮が求められる

畜産業について



長嶺 安浩 議員



新聞報道によると「飼料価格は直近5年で約1.5倍となり高止まりが続く中、子牛の競り価格は過去10年で最低レベルに低下」とあるが、市の見解を伺う。

市長 令和6年度は、畜産農家にとっても大変厳しい状況であった。令和7年度に入ってから競り価格は上昇傾向にあるものの、基準価格を上回ったことにより、国や県による補給金が停止され、以前にも増して経営の不安定さが増している。市においては国の臨時交付金を財源とした農業用資材等臨時支援事業を8月1日から実施しており、本事業をはじめ国や県の事業を活用しながら畜産農家が安心して

て経営が継続できるよう支援をしていく。

長嶺 市の和牛改良組合の農家の声を聞くと、優良母牛リース支援事業の再開を望み、経営基盤を立て直すための支援、長期的な支援継続、そういうものを願っている。市の見解を伺う。

経済部長 経営基盤を立て直しや中長期的な継続支援に向け、母牛リース事業なども含め、どのような事業が最適なのかを和牛改良組合と意見交換を行いながら、制度設計に取り組んでいく。

長嶺 市の和牛改良組合は、県の畜産共進会でも団体優勝したり、いろんな結果を残している。市、JA、県ともいろいろ協議しながら、生産農家も一緒になって、打開策を生み出してもらいたい。



経営基盤を立て直すための長期的な支援が求められる

道路行政について



玉城 博光 議員



糸満ロータリー景観整備に関する県への要請について伺う。

建設部長 景観法に基づく景観重要公共施設への指定として、糸満ロータリーを含む県道糸満与那原線を県の同意を得た上で指定しており、県が整備を行う際は、糸満市風景づくり計画に示す整備に関する方針に基づき、本市と協議を行いながら、良好な景観形成を進めていくこととなっている。要請については糸満ロータリー・ラウンドアバウト等の交差点改良、景観に配慮した電線類地中化及び道路拡幅整備など、地域振興の発展のため、早期整備が必要であるとした事項を上げている。

玉城 景観重要公共施設の指

定について、分かりやすく説明をお願いしたい。

建設部長 道路や河川などの地域の風景に影響し、良好な風景づくりのため、その質を向上・改善することで積極的な風景づくりを先導する公共施設を景観重要公共施設として指定している。

玉城 糸満市景観審議会で決定された糸満ロータリーのデザイン的なパース図はあるか、ホームページでの公開は検討しているか伺う。

建設部長 内容等が正式に決定した際には、ホームページ等にて周知する必要があるものと認識している。

玉城 皆が期待をしているので、そういう情報はホームページでも構わないので、公開をお願いしたい。



糸満ロータリーラウンドアバウト

文化財の保全について



大城むつみ 議員



座波区の龕修繕の取組はどうなったか伺う。

教育部長 教育委員会としては、市民の貴重な財産である地域資源としても注目されている字座波・賀数所有の龕の保存・活用は重要な事業と認識している。しかしながら本市には数多くの文化財があり、それらを全て行政で管理することは難しく、限られた財源、他の文化財保全なども勘案し、実施可能な施策について調査研究を継続していきたいと考えている。

大城 12月と3月の定例会でも質問したが、そのときの答弁では、座波と賀数の地域で保存してほしいとのことで、また行政と話合いの場



竈が納められている竈屋（ガンヤー）

を持ちながら対応を検討するという答弁があった。実は旧暦の8月10日、新暦10月1日に毎年、竈の供養祭がある。そのときにぜひ地域との話し合いの場を持ちたいと思っているが、参加していただけるか。
教育部長 できるだけ日程を調整して、参加させていただきたいと考えている。

大城 やはりそういった前向きな答弁を頂くと、地域に帰ってみんなで相談して考えようという気にもなり、周りの方もそう思ってくれると思う。



徳元 敏之 議員



農業行政について

真壁東第2地区土地改良事業について、①当初の計画どおり施工されているか。②今後の事業計画について年次ごとに伺う。③地権者との会議の予定を伺う。

経済部長 ①当初の事業スケジュールでは、市道真壁宇江城線の北側箇所を、令和6年度施工予定だったが、文化財発掘調査等の兼ね合いで1年ずれ込み、令和7年度に変更になっている。②令和7年度においては、市道真壁宇江城線の北側箇所の工事と並行して文化財発掘調査を実施し、令和8年度以降については、市道真壁宇江城線の南側の下流域部分の工事を予定しており、その次に上流域部分を行



地権者に寄り添った進め方が求められる

う予定である。③これまで複数回、地域への説明会を行ってきたが、本年度も工事箇所の地権者に対し、現場立会いの上、工事説明を行う。あわせて、全ての地権者を対象として、地元説明会を10月に予定している。

徳元 私がこれまでも土地改良事業について、繰り返し質問してきた理由は、現在工事が進められている中で、地権者の方々より不平不満の声を多く聞いているからである。農地開発は5年以上かかる大きな事業となる中で、地権者及び地域との良好な関係性を維持することが一番大切なことだと思う。事業主体が沖縄県ではあるが、市としてもしっかり市民の立場に立って事業を円滑に進められるよう努力してもらいたい。



山内 竜二 議員



下水道事業について

現在全国的に施設の老朽化や人口減少に伴う財政的な課題が深刻化しており、その解決策の一つとして注目されているのがウォーターPPPである。本市においても令和7年度には導入可能性調査が予定されていることから、状況の確認のために伺う。①下水道事業ウォーターPPPとは何か。②導入することによって目指す目的や効果は何か。

水道部長 ①民間のノウハウや技術力を活用し、公共サービスの持続可能性を高める官民連携の取組で、施設の維持管理や更新、資金調達を含めて民間と役割分担を行うことで、



継続的かつ安定的な運営が求められる

効率的かつ安定的な運営を目指すもので、人材不足や財政制約に対応する有効な手段とされている。②老朽化施設の計画的な更新と安定した維持管理や運営方針の官民連携による確立を目指していく。またライフサイクルコストを意識した管理・更新により、費用削減、更新・維持管理業務を一体的に進めることで、効率的な計画が立てられること、水環境の保全や浸水対策など安心・安全を支えるサービス水準の向上につながる効果があるものと考えている。

山内 老朽化施設の更新や財政負担の軽減、市民サービス向上という課題は避けては通れない重要なテーマである。市民にとって分かりやすく安心していただける形で議論を深めていただき、市民の安心と安全を守る下水道事業の持続可能な運営をお願いしたい。

地域デイサービス中央型について、①1年間の予算額と②利用者からの要望。③今後の方針を伺う。

福祉部長 ①中央型・地域型・住民主体型が一体となった予算で、総額で2620万5000円となっている。中央型の事業内容としては、糸満市社会福祉センター等にスタッフを派遣し、主に体操などを行っている。②中央型参加者の地域活動移行については、地域型は女性が多くて参加しづらい、活動内容や運動強度が合わないなどの理由により、中央型の継続を望む意見や、地域型・住民主体型への参加や立ち上げ支援を希望する意見等がある。③多くの高

高齢者福祉行政について



伊敷 郁子 議員



利用者に寄り添った運用が求められる

齢者が継続的かつ長期的に介護予防に取り組むためには身近な場所において活動ができることが望ましく、今後の高齢化の進展を踏まえ、広く介護予防活動を推進する必要があることから、介護予防拠点の拡充を図っていきたい。

伊敷 中央型だったら通いたいという方はたくさんいる。なくすのではなく、その人の段階によって選べるシステムをつくっていくことが本当の意味での介護予防ではないか。そういう取組はできないか。

福祉部長 今年度下期から地域活動に向けた支援を行う予定で、その中で利用者の意見を伺いながら、今後の支援の在り方を検討していきたい。

伊敷 ぜひ立ち止まって、今後の支援の在り方を考えていただきたい。

学校の吹奏楽楽器購入について



金城 幸盛 議員

①本市における小中学校の吹奏楽楽器の整備状況、老朽化の実態。②宮古島市のように一括交付金の活用を提案するが見解を伺う。

教育指導監 ①吹奏楽に使用する楽器は高額なものが多くことから、寄附や寄贈、周年事業などを活用し整備を行っている。②関係部署と調整しながら検討する。

幸盛 老朽化して使えない楽器が多々あると聞いている。今年度における小中学校の吹奏楽楽器整備について、具体的な予算額と整備を予定している楽器の種類や数量を伺う。

教育指導監 令和7年度については予算を組んでおらず、今のところ整備の予定もな



一括交付金を活用し子供たちの後押しを

い。音楽教材として必要な楽器等については、学校備品として購入してもらっている。

幸盛 楽器が老朽化しているという報告を受けているので、予算化することは非常な大事である。しっかり対応をお願いする。宮古島市では平成30年度に一括交付金を活用し3100万円を投じて新しい楽器の整備をした。その結果、複数校が一気に県代表に選ばれるという快挙を成し遂げ、九州全体で大きな話題となった。本市でも一括交付金を活用し計画的に整備すれば、子供たちの可能性を広げ、地域に勇気と誇りをもたらすのではないかと考えるが、見解を伺う。

教育指導監 関係部署との調整もあるので今後検討する。

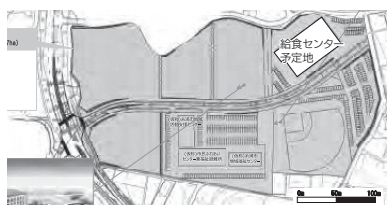
給食センターについて



平田 健人 議員

①老朽化した施設にかかった過去5年間の維持費。②現在の移設計画について伺う。

教育部長 ①令和2年度から令和6年度までの修繕費、工事費、備品購入費を合算した額を維持費とすると、令和2年度1754万7000円、令和3年度578万4000円、令和4年度1264万円、令和5年度1335万3000円、令和6年度8791万円、合計が1億3723万4000円となっている。②建設予定地である南部病院跡地等造成事業の工程では、令和8年度から9年度に事業者の選定及び決定、令和10年度に工事中、令和12年度初頭に工事完成、引渡しを予定し



南部病院跡地等造成事業基本計画
パンフレットより

ている。そのため、新給食センターの供用開始時期は、令和12年度中となる予定である。

平田 令和7年度の維持に関する予算額を伺う。

教育部長 令和7年度の当初予算として、3億4986万2000円を計上している。さらに本定例会において、補正予算として544万4000円を追加している。内容としては、調理委託、修繕費、工事費、備品購入費となっている。

平田 今の計画では遅すぎ。老朽化している施設を継ぎはぎで維持して、食の安全が守られるのか不安である。維持費もばかにならない。社協跡地ではなく別の候補地で検討から始めてほしいかがが。

教育部長 現在のところ、計画の変更はない。

ハラスメント防止条例(仮称)について



浦崎 暁 議員



①条例制定について市長の見解。②市当局のハラスメント防止に向けた取組。③議会に対しての要望について伺う。

総務部長 ①議員のハラスメント防止条例等を制定し、明確な指針を示すことでハラスメントの防止及び根絶に向けた取組を推進し、議会と市当局との適切な関係性が維持され、市民の信頼に応え、さらなる健全な議会運営を実現していくことを期待している。

②相談窓口や専用メール、ハラスメント相談員の周知、ハラスメントを正しく理解するための研修、アンケート調査を行っている。③議員や職員等が安心して相談できる体制や相談、調査、対応を公平に行

うこと、定期的な議員へのハラスメント研修、議員ハラスメントアンケート調査の実施、公表をしていただくことが必要だと思う。

浦崎 今9月定例会でハラスメント防止条例が可決する予定である。この条例の大きな特徴は、議員から職員に対してだけではなく、職員から議員に対するハラスメントも対象となっている。この条例をきちんと動かすためには、相談員等の予算措置が重要となっている。このたび市長は予算措置を講じると約束したというが、どうか。

総務部長 予算措置はしている。

浦崎 議員、職員が一体となつてハラスメントのない職場、議会をつくっていききたい。



議員、職員が丸となってハラスメントのない職場づくりを

嘉手志川公園整備について



西平 賀雄 議員



南山城跡の復元全体計画の中での公園整備の位置づけは、その後どうなっているか進捗状況を伺う。

教育長 嘉手志川は伝承上も立地上も南山城跡と一体性を持つことから、南山城跡と併せて文化財的整備を行うことにより、その価値が高まるものと考えている。教育委員会としては、南山城跡と併せて整備を行うが、その際は地元大里自治会の意向を踏まえながら優先的に実施できるよう、関係機関と協議、調整に努めていく。

西平 この公園については、平成7年に基本計画は出来上がっている。あれから30年余り経過しており、地域の方々



長年の期待に応えられるような取組が求められる

もぜひこの嘉手志川の整備を早急にやってほしいという強い願いがある。ぜひ急いで頂きたい。



シャボン玉石けんくくる系満の空きスペースを高校生が使うことができないか伺う。

経済部長 くくる系満は市民の交流や地域活性化を目的とした施設である。特に若年層の利用促進が課題で、多く方に施設を知ってもらうことを目指しており、高校生に限らず、子供たちの学習スペースとしての利用を前向きに検討しており、開館時間内で施設利用のルールを守った上で空きスペースを学習に利用することは可能と考える。今後は子供たちの利用促進に向け関係機関と連携し調整を進める。

金城 学習スペースとしての利用を前向きに検討している。と聞き、大変うれしく思う。

教育行政について



金城 敦 議員



くくる系満はWi-Fiも完備しているのか伺う。

経済部長 環境は整っている。

金城 誰でも使えるのか。

経済部長 施設のルールを守った上であれば利用可能と考えている。

金城 高校生はすぐでも使える場所を探している。いつから使えるか伺う。

経済部長 指定管理者や関係機関との調整を進めており、今年度内の開始を目指したい。

金城 年度内とのことだが、来月からでもという思いで頑張っている。ある高校の先生によると自習スペースのある地域の生徒の成績は良くなっていると感じるとのことだ。くくる系満のような環境のいい場所だと集中して勉強ができるので早めの決定をお願いする。



くくる系満施設内交流ロビー

本市でゼロ歳から18歳を対象に接種費用の半額助成を行った場合、必要とされる予算額の試算を伺う。

市民健康部長 フルミストワクチンで2歳から高校3年生までを対象、市内取扱医療機関の接種費用8000円を参考とし、その半額を補助。対象者の50%が接種すると仮定して試算すると2427万4000円となる。

黒島 全体助成は財政的なインパクトが強く、細かく重点的で戦略的な対象を設定することで小さく始められると考える。インフルエンザは県外では冬はやるが沖縄は夏と冬の2回ピークがある。対象を小学校6年、

予防接種助成制度について



黒島 新 議員



中学校3年、高校3年の受験学年としても良いかと考えるが市の見解を伺う。

市民健康部長 受験学年に絞った試算は412万4000円となる。

黒島 フルミストは鼻の粘膜に行うワクチンで、私なりに調べた論文では効果が1年くらい続き、注射タイプより広いタイプのウイルスに対応可能という論文報告がある。夏に接種すると冬の受験まで効果が続くので受験生にとって有用な選択になる。また注射タイプは12歳までは2回打つ必要があるが、これは1回で済む。付き添う親も仕事を休む回数が減るのも大きなメリットであり、数字に現れない部分で市民の財政保護の役割もこの接種事業で担えるのではないかと。そこも含め接種の半額助成を検討してほしい。



予防接種の支援拡充を

本市において後援の枠組みの中で、既存事業との連携や予算措置を含めた多角的な支援を検討できないか伺う。

経済部長 新たな予算を伴う支援は慎重に判断していく。県全体の伝統芸能を盛り上げ、次世代に継承していく。祭りの意義は非常に大きい。継続実施できるような今後もできる支援を続けていきたい。

関屋 新たな予算を伴う支援は難しいとあったが、ふるさと納税のガバメントクラウドファンディングを活用すれば、全国から応援を募り、祭りの支援が可能になる。外部資金を呼び込み、支援を拡充することを検討できないか伺う。

経済部長 本市には地域固有

「ぜんぶ祭り」に対する本市の関わり方について



関屋 安莉 議員





伝統行事に対する新たな支援策の検討を

の伝統行事が数多くあり、新たな事業への支援の優先は公平性の観点から慎重な判断が求められる。ぜんぶ祭りの持つ水産業や地域活性化の意義は大きいと認識しており可能な限りの支援を継続していく。

関屋 他の伝統行事より優先してほしいということではなく、既存行事に並行して支援の枠組みに位置付けてほしい趣旨と認識している。これほど多くの市民が集まり、熱を帯び、地域の誇りと活力を示している。市民の力を負担と捉えず資源として捉え、外部資金を取り込む仕組みを整えることで持続可能な形で支えていくべきではないか。市として広報のみの支援にとどめず新しいアイデアや前向きな発想をもって支援してほしい。

次世代産業人材育成について



山城 渉 議員



IT人材が2030年には最大79万人不足すると経産省が発表している。ビッグデータ、AI（人工知能）、ロボット等新技術に係る人材育成を小学生から行い、10年後には糸満市で新たな産業で活躍できる人材の育成が急務だと思う。本市において「地域おこし協力隊」を活用し、人材育成を提案するが、未来ある子供たちのために事業を立ち上げることが可能か伺う。

経済部長

子供たちが早い段階から経済に関心を持ち、学ぶ機会を設けることは重要であると認識しているが、事業の立上げは、財政



次世代人材育成のための新たな取組が求められる

状況を踏まえ今後の検討課題としたい。

山城 愛知県安城市の企業版ふるさと納税でデジタル人材推進事業安城こどもBOOSTERS「こどもたちを一番応援するまちへ」というものがある。事業内容を伺う。

経済部長 市内高校生を対象にデジタルスキルを学びながら地域課題解決にチャレンジする取組で、デジタル人材の育成が目的となっている。

山城 この情報は私が令和3年12月に一般質問したが事業化に至っていない。DXも使うだけではなくDXアプリを作る人材を逆に糸満市から多く輩出し、DXを作る企業を糸満市に誘致する、その取組の最初が子供たちの人材育成だと思う。子供を中心として元気な糸満市、それが老人介護にもつながる。今後とも市の発展のため頑張してほしい。

照屋西信号機前での交通事故について



新垣 安彦 議員



①事故状況について、市当局はどのように把握しているか。②照屋側の路面に一時停止の標識または表示灯設置について伺う。

市民健康部長

①令和7年7月18日に照屋自治会長より照屋西信号機前の交差点において接触事故が発生しているため、市道照屋2号線に一時停止に係る道路標識や路面標示の設置について要請書が提出され、同日現場確認を行っている。②現場を確認し、所管である糸満警察署へ一時停止の路面標示や道路標示に向けた要望書を提出している。

新垣

警察署からどのような回答があったか伺う。

市民健康部長

進捗状況とし

て現在、沖縄県警へ上申中であるとの回答があった。

新垣 地元で何回も通っているが同じような状態に何度も遭っている。市道照屋2号線から照屋西信号機前に向かう際に優先が分かりにくく事故が発生している。優先が分かるような看板設置はできないか。

市民健康部長 看板など注意喚起する方法について関係部署、警察や自治会などと調整し対策に取り組んでいきたい。

新垣 私から提案だが優先道路ではないと一時停止という看板をつけることによって照屋2号線側から注意喚起するような立て看板を設置するところがよいと思う。警察の標識にかかわらず、建設課が対応できる範囲で看板設置する対策も考えてほしい。



早急な対応が求められる

◆◆◆ 令和7年 第5回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果	事件番号	件 名	議決結果
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし	議案第91号	指定管理者の指定について（真栄平屋外運動場）	原案可決
認定第1号	令和6年度糸満市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	議案第92号	指定管理者の指定について（真栄里屋外運動場）	〃
認定第2号	令和6年度糸満市人材育成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第93号	指定管理者の指定について（阿波根屋外運動場）	〃
認定第3号	令和6年度糸満市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第94号	糸満市と豊見城市の境界に関する争論の調停の申請について	〃
認定第4号	令和6年度糸満市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第95号	専決処分の承認について（令和7年度糸満市下水道事業会計補正予算（第2号））	承 認
認定第5号	令和6年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第96号	糸満市監査委員条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
認定第6号	令和6年度糸満市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第97号	指定管理者の指定について（糸満市真壁児童クラブ）	〃
認定第7号	令和6年度糸満市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第98号	指定管理者の指定について（こめす児童クラブ）	〃
認定第8号	令和6年度糸満市真栄里地区物流団地開発等特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議案第99号	令和7年度糸満市一般会計補正予算（第3号）	〃
認定第9号	令和6年度糸満市真栄里土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	議員提出第5号	不発弾処理と戦没者御遺骨の収容を国に求める意見書の提出について	〃
議案第67号	令和6年度糸満市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議員提出第6号	糸満市議会ハラスメント防止条例の制定について	〃
議案第68号	令和6年度糸満市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	議員提出第7号	糸満市議会委員会条例の一部を改正する条例について	〃
議案第69号	令和6年度糸満市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	議員提出第8号	糸満市議会会議規則の全部を改正する規則について	〃
議案第70号	令和7年度糸満市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	議員提出第9号	市長の専決事項の指定について	〃
議案第71号	令和7年度糸満市人材育成事業特別会計補正予算（第1号）	〃	議員提出第10号	ミャンマーの総選挙に対する決議について	〃
議案第72号	令和7年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃	議員提出第11号	日本政府のパレスチナ国家承認を求める意見書の提出について	〃
議案第73号	令和7年度糸満市介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃		高嶺小学校移転改築事業の入札不調解明のための調査の件	決 定
議案第74号	令和7年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計補正予算（第1号）	〃		公有地（字糸満1943番37）処分に係る調査の件	〃
議案第75号	令和7年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	〃		糸満市老人クラブ連合会・陶芸同好会からの陳情書	採 択
議案第76号	令和7年度糸満市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃		夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	〃
議案第77号	令和7年度糸満市真栄里地区物流団地開発等特別会計補正予算（第1号）	〃	議員提出第12号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書の提出について	原案可決
議案第78号	令和7年度糸満市真栄里土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	〃		令和3年3月22日付採択された陳情「日常生活用具給付等事業（紙おむつ）の給付要件の緩和・糸満市に対する支援要請に関する陳情」の実施について（陳情）	採 択
議案第79号	令和7年度糸満市水道事業会計補正予算（第2号）	〃		令和8年度民生委員・児童委員活動予算に関する陳情書	〃
議案第80号	令和7年度糸満市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	〃		県産品の優先使用について（要請）	〃
議案第81号	糸満市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃		地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）	〃
議案第82号	糸満市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	〃		地場産品奨励及び地元企業優先活用（要請）	〃
議案第83号	糸満市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	〃		議員派遣の件	決 定
議案第84号	糸満市都市公園条例の一部を改正する条例について	〃		全国灵感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情	審議未了
議案第85号	工事請負契約について（庁舎基幹設備等浸水対策工事（電気））	〃		糸満市海浜管理条例制定について（要請）	〃
議案第86号	工事請負契約について（潮平小学校屋内運動場長寿命化（予防改修）工事）	〃		沖縄本島南部土砂採取計画の撤回を国に要請することを求める陳情	〃
議案第87号	工事請負契約の変更契約について（西崎球場ブルーベン建築工事（建築））	〃		白川2号水路の道路占用工事の事務手続きの調査について	〃
議案第88号	工事請負契約の変更契約について（西崎東川河道掘削工事）	〃		所得税法第56条の廃止を求める陳情	〃
議案第89号	財産の取得について（高規格救急自動車）	〃		糸満市産モリンガを食育・地産地消の地場産品として周知・普及・啓発を求める陳情書	〃
議案第90号	財産の取得について（高度救命資器材）	〃		糸満市真栄里海岸管理条例の制定について（要請）	〃

令和7年第5回定例会 議案等に対する議員の賛否一覧（全会一致を除く）

令和7年第5回定例会 議案等に対する議員の賛否一覧

糸満市議会議員 条例定数 21人

※【○】：賛成 【×】：反対 【欠】：欠席 【除】：除斥 【退】：退席 【一】：議場に不在 【停】：出席停止 【議】：議長（議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません）

※【会派名略称】兼城：兼城クラブ 公明：公明党 市翔：市翔クラブ 南海：南海クラブ 日々：日々草 共産：日本共産党 結び：結びの会 良徳：良徳系会 無：無会派

議案等番号	件名	議決月日	議決結果	出席者数	表決者数	賛成者数	反対者数	議席 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		21
								日々	日々	兼城	共産	共産	無	市翔	市翔	兼城	良徳	無	結び	兼城	公明	公明	南海	南海	南海	結び		良徳
								大城むつみ	関屋安莉	山内竜二	前田潤	浦崎暁	伊敷郁子	玉城博光	金城一文	長嶺安浩	玉城良	平田健人	金城悟	金城寛	新垣安彦	金城幸盛	山城渉	西平賀雄	黒島新	金城敦	欠員	徳元敏之
議員提出議案第10号	ミャンマーの総選挙に対する決議について	9月29日	原案可決	20	19	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	×		×
	公有地（字糸満1943番37）処分に係る調査の件	9月29日	決定	20	19	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	×	○		○